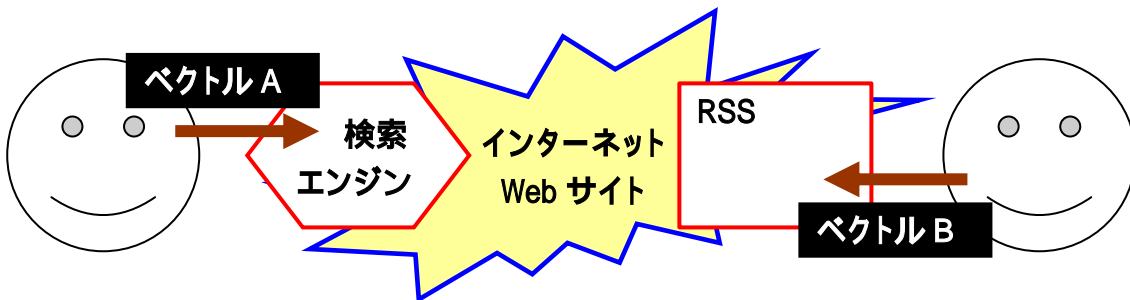


インターネット開始から 10 年 / 2005 年は新しいステージへの旅立ち

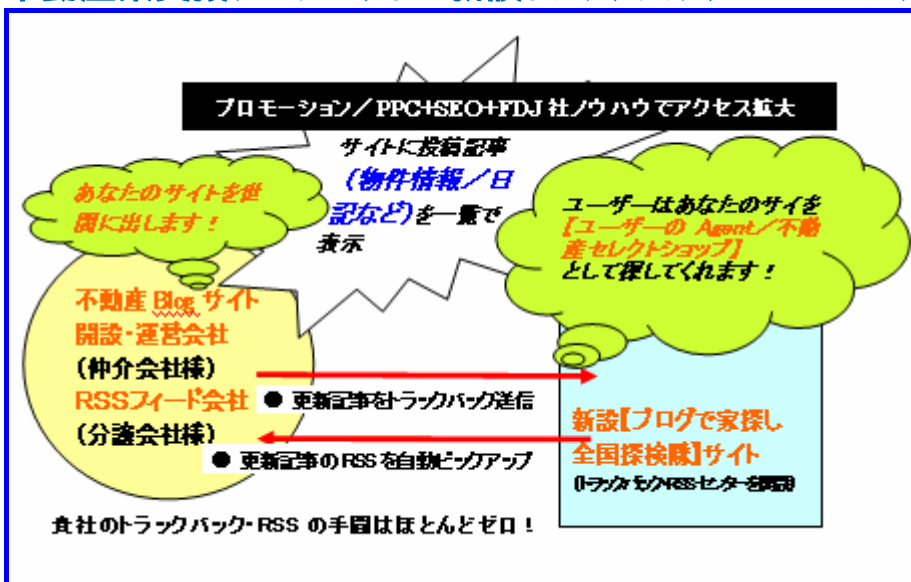
2005 年は、インターネットの実用化開始から 10 年！
新しい活用ステージへの大転換が始まりました。

不動産サイトもXML / RSS 時代へ



Web 上の情報流通は、「ベクトル A」から
「ベクトル B」へ
180 度の逆流 が始まる！

2004 年 / 2 月 1 日 (予定) 衝撃オープン
不動産業支援プロジェクト / 新設トラックバック・RSS センターのイメージ



FDJ社によるRSS教室 / 次ページへどうぞ

- [上] 「2005 年は新しいステージへの旅立ち」をご覧頂くのにあたって
- [中] RSS 時代に備えるためのレッスン / 情報を送信する側からの対応
- [下] RSS 時代に備えるためのレッスン / 情報を受信する側からの対応

F D J社RSS教室 / 無料開校

インターネット開始から 10 年 / 2005 年は新しいステージへの旅立ち

***すべてのURLにリンクがついています。**

【上】「2005 年は新しいステージへの旅立ち」をご覧頂くのにあたって

このレポート「2005 年は新しいステージへの旅立ち」をお読み頂くのにあたって、まず「インターネットにおける XML の必要性 / XML が登場した背景を理解しておいて下さい。

さらに、レポートを苦痛なく読み進みいただくために、簡単な用語解説を作りましたので、サマリーしておいて下さい。

【中】RSS 時代に備えるためのレッスン / 情報を送信する側からの対応

Web に情報を自己発信するのが RSS フィード
あなたのサイトも“RSS 宣言”を行おう

RSS フィード提供サイトのパターンは現在4ケース
新着情報の「RSS フィード」が急速に進展へ

RSS フィードはどのようにして作られるのか
RSS 作成サービス / ライティングソフトが続々登場

【下】RSS 時代に備えるためのレッスン / 情報を受信する側からの対応

自分の PC に情報空間を創造するのが RSS リーダー
情報探索は検索エンジンとの併用時代へ

Blog 専門・検索エンジンについて
「テーマ別 Blog 収集サービス」が面白い

RSSのためのアプリケーション・ソフト

人気の「goo RSS リーダー」

<http://reader.goo.ne.jp/>

RSS エディタ Headline-Editor Lite 版の紹介

<http://www.infomaker.jp/editorlite/>

【上】「2005 年は新しいステージへの旅立ち」をご覧頂くのにあたって

世界最大級の IT 情報提供会社である IDG (International Data Group) は、今年 5 月 (17 ~ 18 日) にニューヨークで Web コンテンツのシンジケーション展示会を開く。

テーマは RSS で、RSS (XML で書かれたサイト) や ATOM (RSS を発展させたもの) のような技術ツールが、将来のビジネス (収入モデル) にどのように使用できるのか、などの事例研究が行われる。

一般に公開されている Web コンテンツのシンジケーション (Content Distribution / Open Syndicate) モデル (プラットフォーム) について、世界中の重役レベルを対象にした商用ベースでの本格的な展示会が開かれるのは、これが初めて。

<http://www.syndicateconference.com/live/38/>

RSS とは、言葉を変えれば、「適切なコンテンツを、望むユーザー (購読者) に配布すること」。2005 年は、一般企業による「RSS 宣言」の増加などによって、「Web コンテンツのシンジケーション時代」が開幕になりそうだ。

このレポート「2005 年は新しいステージへの旅立ち」をお読み頂くのにあたって、まず「インターネットにおける XML の必要性 / XML が登場した背景を理解しておいて下さい。

XML (Extensible Markup Language / 拡張可能なマーク付け言語) は、HTML と SGML という 2 つの言語の弱点を克服するものとして新たに登場した言語である。まず、第 1 の言語である HTML (Hypertext Markup Language) は、インターネットの Web で情報を配布・閲覧するために大変便利な言語として広く普及。しかし、データのもつ階層的構造を明確に表現できないなどの弱点があり、実際のビジネス活用には限界があった。

もう 1 つの言語である SGML (Standard Generalized Markup Language) は、階層的構造化文書として情報を表現できる言語。しかし、Web 向きの仕様になっていないため、Web 対応言語としては事実上使用できない。

そこで、インターネット・Web 用の言語としてはどうしても、この 2 つの言語の弱点を解決する言語が必要となり、そうした期待を担って登場したのが XML である。

そして、XML は現在、Web 上で使われるフォーマットやプロトコルなどすべてのデータベースや通信のメタ基礎言語になろうとしている。

さらに、レポートを苦痛なく読み進みいただくために、簡単な用語解説を作りましたので、サマリーしておいて下さい。

RSS とは

RSS とは、日付と 1 行のヘッドラインからなるニュース、Blog の投稿記事や日記、メールなどサイトの概略を表現する新しい規格。RSS にはいくつかのバージョンがある。

ATOM とは

最近よく見かけるようになった ATOM とは、RSS の改善を目指した新しい配布形式。

RDF / XML

RSS は、XML と呼ばれたり、RDF と呼ばれたりもする。これは、XML を使って RDF が定められ、それを使って RSS が定められているためである。

【中】RSS 時代に備えるためのレッスン / 情報を送信する側からの対応

Web に情報を自己発信するのが RSS フィード あなたのサイトも“RSS 宣言”を行おう

新着記事のタイトルやサマリなどの情報を、RSS (RDF Site Summary または Rich Site Summary) フォーマットで提供するサービス。こうしたサービスは、一般に「RSS フィード」と呼ばれている。

RSS は、XML によって記述されるヘッドライン情報を提供するためのフォーマットの 1 つで、コンテンツの見出しやサマリ、URL 情報などを Web 上で効率よく流通させるための事実上の標準となっている。

RSS には、現在使われているバージョンとして、0.9 / 0.91 / 1.0 / 2.0 / 3.0 などがあるが、ほとんどの提供者が、自分のサイト上で以下のようなアイコンを使っている。



これらのアイコンを表示しているサイトを、“RSS 宣言”を行っているサイトと呼ぶと従来の HTML だけで書かれたサイトと区別がついて分かりやすくなるかもしれません。

ユーザーは、このようなアイコンを見つけたら、自分のパソコンにダウンロードしている「RSS リーダー」に、そのサイトの「RSS フィード」アドレスをドラッグ&ドロップ(コピー&ペースト)するだけで閲覧することができる という便利なツールだ。

RSS フィード提供サイトのパターンは現在4ケース 新着情報の「RSS フィード」が急速に進展へ

次に、ここでは「RSS フィード」を提供しているサイトのパターンをみておきましょう。

【パターン1】Blog は最初から RSS に完全対応

Blog は最初から RSS に完全対応 / すべての Blog が、「RSS フィード」を提供しているといつてよいでしょう。前記のアイコンの他に、「Syndicate this site (XML)」とか「ATOM」(これは、アイコンになっていることが多い)とか、あるはそのサイトが使用している Blog サービスの商品名が書かれています。これらはすべて「RSS フィード」を提供しているサイトです。

【パターン2】「RSS フィード」の切り出し提供

「RSS フィード」の切り出し提供 / サイトの中には、全体は HTML で書かれているのですが、人気コラムや専門情報を「RSS フィード」で提供するところが最近目立つようになってきました。

例 / RSS フィードで提供される情報 Web サイト「@IT」

<http://www.atmarkit.co.jp/aboutus/rss/rss.html>

日本で配布されている RSS / RDF のリストは、下記でご覧下さい。

rss-jp.net

http://rss-jp.net/rss_list.html

RSS 対応サイト集

<http://www.infomaker.jp/supprss.htm>

【パターン3】新着情報を「RSS フィード」で提供しているサイト

新着情報を「RSS フィード」で提供しているサイト / かなり増えてきていますが、住宅・不動産業では、分譲住宅大手の(株)東栄住宅が先例とまりました。

(株)東栄住宅 <http://www.touei.co.jp/>

新着情報を「RSS フィード」で提供するためのライティングツールは、現在続々と加速度的に開発されていますが、以下に代表的な例を1つだけ、紹介しておきましょう。

RSS エディタ Headline-Editor / Lite 版の紹介

<http://www.infomaker.jp/editorlite/>

[パターン 4]XML によるサイトの記述

XML によるサイトの記述 / XML コンソーシアムによって標準化・普及活動が進む中で、(社)岐阜県不動産鑑定士協会では、協会の公式サイトを Blog ツールの 1 つである Movable Type によって作成、XML 宣言「Syndicate this site (XML)」を行いました。

(社)岐阜県不動産鑑定士協会

<http://www.kantei-gifu.or.jp/>

また、不動産業界での XML 活用については、不動産情報サイト事業者連絡協議会 (RSC) によって不動産業界発展のための非営利での不動産 XML 研究活動 (主として物件情報・地図データの XML 化の必要性、標準化など) が進められています。

不動産情報サイト事業者連絡協議会 (RSC)

<http://www.rsc-web.jp/>

XML コンソーシアム

<http://www.xmlconsortium.org/>

RSS フィードはどのようにして作られるのか RSS 作成サービス / ライティングソフトが続々登場

ISP (インターネットサービスプロバイダー) や不動産業界などに Web アプリケーションを提供するソリューション各社は、これまで Web 構築サービスを提供することが主力でしたが、昨年 (2004 年後半) あたりから Blog 構築サービス RSS 作成サービスにも力を入れ始めました。ここでは、そうしたソリューション (課題解決) 企業やアプリケーションソフト (Blog もその一種である) の最新動向ケースをみておくことにしましょう。

(株)ミツエーリンクスによる RSS 作成サービス

<http://www.mitsue.co.jp/service/produce/rss.html>

このサービスは、既存の Web ページからでも RSS 配信ができるようにするというサービス。これまで、ありそうでなかった 180° 発想転換のサービスです。

(株)ミツエーリンクスでは、HTML によって記述されたサイトを「静的ページ」、XML によって記述されたサイトを「動的ページ」と呼んでいます。

(有)ゴッターライドによる「らくらく更新」サービス

<http://www.raku2kousin.com/>

RSS 時代に対応した「らくらく更新」は、ページを定型化し、誰でも簡単にコンテンツが更新できるようにするライティング支援システム。

RSS Writer / RSS を簡単に書き出しすることができるソフト

<http://www.pori2.net/soft/rss/>

RSS Writer は、XML の知識が無くても RSS データを簡単に作ることができるソフト。RSS でデータに含まれるのはタイトル、リンク先、タイトル、更新日時などであるが、RSS Writer では登録画面にそれらの項目を打ち込むだけで RSS ファイルが作成できる。

(RSS の書き出し = ライティングソフトは、2004 年秋ごろから続々と開発されており、2005 年 1 月に入ると、さらに加速されている)

「窓の杜」による RSS 作成支援ソフトの紹介

『窓の杜』(<http://www.forest.impress.co.jp/>) 行くと、無料の「RSS 作成支援」ソフトが紹介されていますので、ダウンロードして使ってみるのもよいでしょう。フリーソフトは、テキストの入力が手作業のものが多くありますが、一日何回も更新するのでなければ、手作業でもそれほどの負担にならないのではないのでしょうか。

窓の杜 - RSS 作成支援 <http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/homepage/rsssupt/>

大日本印刷(株) / 企業オリジナルの RSS ティッカーを制作

大日本印刷(株)は、2004 年 11 月から、企業などの Web サイトの更新状況を自動配信するサービス / 企業オリジナルの RSS ティッカー (電光掲示板) の制作と配布を開始。

<http://www.dnp-digi.com/press/20041119.html>

【下】RSS 時代に備えるためのレッスン / 情報を受信する側からの対応

自分の PC に情報空間を創造するのが RSS リーダー 情報探索は検索エンジンとの併用時代へ

RSS リーダーによる情報探索方法は、大別すると自分のパソコンに RSS リーダーを実装(といっても、ダウンロード・インストールするだけ)して、指定サイトや設定テーマを自動閲覧する方法と、RSS 対応サイトの情報が集められている「Blog 専門・検索エンジン」や RSS センターやトラックバックセンターと呼ばれる「テーマ別 Blog 収集サービス」に最新情報を見に行く方法 - とがある。

最初に、「自分の PC に情報空間を創造する場合」をみていくことにしましょう。

RSS アグリゲータとも呼ばれる「RSS リーダー」は、Web サイトで公開されている情報を効率よく集めて楽に読めるようなもの。

無料(有料のものもある)で使えるアプリケーションのダウンロードが必要。(Macintosh なら NetNewsWire など、Windows なら Feedreader などが代表的)

「RSS リーダー」も、機能的なものが急速に開発され、紹介サイトがたくさん登場しています(代表的なものを下記に1つだけ紹介)から、そこにアクセスして自分に合いそうなものをダウンロードして PC に取り込んでみて下さい。

お勧め RSS リーダー

http://freesoft_2ch.at.infoseek.co.jp/rss/

RSS リーダーは、ほとんどの Blog サービスが提供していて、goo では 2004 年 9 月に「gooRSS リーダー」をリリースしました。

また、RSS リーダーには、常駐型でクリックすると開いてくるもの(これが主流)やメーラー型(指定しておいたサイトやテーマ項目の情報が更新されるとお知らせメールを送ってくる)のもの、電光掲示板のように文字が流れるティッカー型、時間指定のポップアップ型などがあります。

使い方としては、これはとても簡単でサイトが XML 形式になっていることを表す「XML」や「RDF」「RSS」などのアイコン表示、または「Syndicate this site (XML)」の宣言が行われているサイトの rssURL をコピーして「RSS リーダー」の所定の位置に貼り付けるだけでよい。

こうして、サイトサマリーを RSS で書き出しているサイトを閲覧リストに登録しておく、それらのサイトを巡回してサマリーをとってきてくれるわけである。

新しく台頭してきた RSS による情報探索の流れは、今後、検索エンジンとの併用時代という局面を現出していくことになるのでしょう。

Blog 専門・検索エンジンについて 「テーマ別 Blog 収集サービス」が面白い

次に、「Blog 専門・検索エンジン」や「テーマ別 Blog 収集サービス」に最新情報を見に行く方法 - をガイドしてみましょう。

Blog 専門・検索エンジンについて

これは、Blog サービスなどが開設している場合が多く、Blog から ping(ネットワークの疎通を確認する情報の更新通知)で送られてくるものや Blog サービスが RSS 対応サイトをピックアップしに行って検索エンジン仕様にしたもの。

すでに、以下に示すようなエンジンが乱立気味であるが、これまでの検索エンジンよりも反映スピードはほぼ即時で抜群に速い。

< Blog 専門・検索エンジン / 主なもの >

blog search <http://blog.threetree.jp/>

対象 blog 数:14,305 インデックス blog 記事数:847,630

goo BLOG <http://blog.goo.ne.jp/>

すべての BLOG から / goo の BLOG から

livedoor Blog <http://blog.livedoor.com/>

すべての Blog から / livedoor の Blog から

FeedBack <http://naoya.dyndns.org/feedback/>

191,583 Blogs. 8,772,976 Entries.

BLOGNAVI <http://www.blognavi.com/>

Myblog japan <http://www.myblog.jp/>

Bulkfeeds: RSS Directory & Search <http://bulkfeeds.net/>

2005/01/16 19:30 現在 599,262 件の RSS が登録され、
4,957,747 件の item がインデックスされている。

melma!blog 検索 <http://blog.melma.com/>

melma!blog だけの検索 blog 名から / キーワードから

Doblog 検索 <http://www.doblog.com/weblog/PortalServlet>

「テーマ別 Blog 収集サービス」が面白い

「テーマ別 Blog 収集サービス」というのは、「Blog 専門・検索エンジン」よりはるかに小型で同エンジンのテーマが総合的なものに対して、専門テーマに特化したもの。運営者は、その道の専門家でも自らも記事を投稿する人が多く、驚くべきアクセス数の人気ブログになっているものがある。

< 代表的な例 >

競馬 blog トラックバックセンター

<http://blog.livedoor.jp/tbcenter/>

トラックバックバンク本店

<http://www.doramix.com/tb/>